



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 加藤 貞則
(コード：5832、東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部長 劔持 直紀
(TEL：086-223-3110)

「株主還元方針の変更」および「剰余金の配当（増配）」 に関するお知らせ

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、株主還元方針の変更および2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当について、下記の通り修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

本件剰余金の配当については、2024年6月26日開催予定の第2回定時株主総会に提案させていただきます。

記

1. 株主還元方針の変更

(1) 変更の理由

当社では、2023年4月にスタートした中期経営計画「未来共創プラン ステージ」において、「地方創生SDGsの『深化』」「イノベーションの創出」「グループ経営基盤の強化」を3つの成長戦略とし、好循環を生み出すことで、地域社会・お客さまと相互に発展する持続的なビジネスモデルを実現するために様々な取組みを加速させております。

2023年度は、これまで以上に資本を有効に活用して、地域課題の解決とROE向上にむけて良質なアセットビジネス・フィービジネスを拡大させたことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は4期連続の増益となる213億円となりました。また2024年度は、この取組みを更に加速させ、5期連続の増益となる240億円を予想しております。

こうしたなか、今後の持続的なROE向上と株主さまへの還元強化を行うために、従来の配当と自社株取得合計による「総還元性向」に基づく株主還元方針から、配当性向に基づく利益成長を通じた「配当拡大」ならびに資本コントロールに基づく「自己株式の取得」による株主還元方針へ見直す事といたしました。

(2) 変更の内容

変更前	当社は銀行持株会社としての公共性と健全性に鑑み、いかなる厳しい環境にも耐え得る財務体質を維持するため、内部留保の充実を図りつつ安定した配当を継続することを基本方針としております。具体的には、配当と自社株取得合計による株主還元率を、親会社株主に帰属する当期純利益の40%以上としております。
変更後	当社は、健全性・収益性（資本効率性）・株主還元の充実の3つのバランスに配慮した資本運営をおこなっています。株主還元方針については、配当性向40%程度を目標とし、利益成長を通じた配当拡大を目指すとともに、資本コントロールを通じた機動的な自己株式の取得を行うこととしております。

「配当」

- ・親会社株主に帰属する当期純利益に対して配当性向40%程度を目標とし利益成長を通じた配当拡大を目指します。

「自己株取得」

- ・普通株式等 Tier1 比率（有価証券評価差額金等を除く）11～12%を指標とし、資本コントロールを通じた機動的な自己株式の取得を行います。

2. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年2月2日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	2024年3月31日	2023年3月31日
1株当たり配当金	32円 (普通配当 32円)	15円 (普通配当 15円)	16円 (普通配当 16円)
配当金総額	5,822百万円	-	2,939百万円
効力発生日	2024年6月27日	-	2023年6月24日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

(2) 理由

2024年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり15円を予定しておりましたが、上記株主還元方針の変更に鑑み、1株当たり32円とすることといたしました。

これにより、中間配当金15円と合せた2024年3月期の1株当たりの年間配当金は47円となります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2024年3月期 (当期)実績	15円	32円(予定)	47円(予定)
2023年3月期 (前期)実績		16円	16円

2023年3月期は、単独株式移転により当社の完全子会社となった株式会社中国銀行が1株当たり14円の間配当を実施しています。当社の期末配当と合計した場合、年間配当金は1株当たり30円に相当します。

2024年3月期においては、「自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ」にて別途開示しております自社株買を併せた総還元性向は63.4%を見込んでおります。

以上

[本件に関するお問合せ先]

経営企画部 清水

TEL : 086 - 223 - 3110